

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6085676号

(P6085676)

(45) 発行日 平成29年2月22日(2017.2.22)

(24) 登録日 平成29年2月3日(2017.2.3)

|                                |         |         |
|--------------------------------|---------|---------|
| (51) Int.Cl.                   | F I     |         |
| <b>B 6 0 N</b> 2/58 (2006.01)  | B 6 0 N | 2/58    |
| <b>A 4 7 C</b> 31/02 (2006.01) | A 4 7 C | 31/02 E |
| <b>B 6 8 G</b> 7/05 (2006.01)  | B 6 8 G | 7/05 A  |

請求項の数 9 (全 6 頁)

|               |                               |           |                         |
|---------------|-------------------------------|-----------|-------------------------|
| (21) 出願番号     | 特願2015-522016 (P2015-522016)  | (73) 特許権者 | 502156098               |
| (86) (22) 出願日 | 平成25年6月20日 (2013.6.20)        |           | ジョンソン・コントロールズ・ゲー・エム     |
| (65) 公表番号     | 特表2015-522478 (P2015-522478A) |           | ・ベー・ハー                  |
| (43) 公表日      | 平成27年8月6日 (2015.8.6)          |           | ドイツ連邦共和国 5 1 3 9 9 ブルシャ |
| (86) 国際出願番号   | PCT/EP2013/062930             |           | イト インドゥストリーシュトラッセ 2     |
| (87) 国際公開番号   | W02014/012740                 |           | O - 3 O                 |
| (87) 国際公開日    | 平成26年1月23日 (2014.1.23)        | (74) 代理人  | 100083806               |
| 審査請求日         | 平成27年7月22日 (2015.7.22)        |           | 弁理士 三好 秀和               |
| (31) 優先権主張番号  | 102012014378.8                | (74) 代理人  | 100095500               |
| (32) 優先日      | 平成24年7月20日 (2012.7.20)        |           | 弁理士 伊藤 正和               |
| (33) 優先権主張国   | ドイツ (DE)                      | (74) 代理人  | 100111235               |
| (31) 優先権主張番号  | 102012018986.9                |           | 弁理士 原 裕子                |
| (32) 優先日      | 平成24年9月27日 (2012.9.27)        |           |                         |
| (33) 優先権主張国   | ドイツ (DE)                      |           |                         |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カバーを含む車両座席

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カバー（1）と側部の覆い（5）とを有するクッション（2）を備え、  
補強ストリップ（3）が前記カバー（1）のエッジ領域の少なくともいくつかの部分に  
設けられ、かつ前記クッション（2）と前記側部の覆い（5）との間の隙間（4）に固定  
的にクランプされ、

前記隙間（4）を更に満たし且つ前記クッション（2）及び／又は前記側部の覆い（5）  
との間の付加的な摩擦をもたらすラミネーション（7）が前記カバー（1）の前記エッ  
ジ領域及び／又は前記補強ストリップ（3）上に設けられている、車両座席。

【請求項 2】

前記補強ストリップ（3）はプラスチックストリップ、厚紙ストリップ又は油紙ストリ  
ップの形で製造されている、請求項 1 記載の車両座席。

【請求項 3】

前記補強ストリップの断面は半矢形状である、請求項 1 又は 2 記載の車両座席。

【請求項 4】

前記補強ストリップは前記カバーのエッジを超えて突出する、請求項 1 ～ 3 のいずれか  
一項に記載の車両座席。

【請求項 5】

前記補強ストリップ（3）は、前記カバーのエッジに平行に走る、少なくとも一つ以上  
のシームによって前記カバーのエッジに接続される、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載

10

20

の車両座席。

【請求項 6】

前記補強ストリップは、前記クッションの形状に適合する柔軟性を有するように設計される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の車両座席。

【請求項 7】

前記カバーの前記エッジ領域は、前記カバーによって覆われる前記補強ストリップの端部に沿って延びる折り曲げ部（1 . 1）を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の車両座席。

【請求項 8】

前記隙間は概ね一定の幅を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の車両座席。

10

【請求項 9】

前記ラミネーション（7）は前記カバーと同じ材料から又はカーペットと類似の材料からなる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の車両座席。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、カバー及び側部の覆いを有するクッションを含む車両座席に関する。

【背景技術】

【0002】

20

このタイプの車両座席が既知の発明から良く知られている。しかし、これらの車両座席の継続的な課題は、カバーを車両座席に簡単に、美的に魅力的な方法で取付けることである。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

それゆえ、本発明の目的は、厳しい美的な要求を満足するカバーが簡単な仕様にて取り付けられる車両座席を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

30

前記課題は、カバー及び側部の覆い（side covering）を有するクッションを有する車両座席によって解決される。前記車両座席には、補強ストリップ（reinforcing strip）が前記カバーの少なくともいくつかのエッジ領域にあって、さらに前記クッションと前記側部の覆いの間にあって提供される。

【0005】

本発明に係る車両座席は、視覚的に魅力的でかつ簡単な仕様にて製造される。クッションは、もしあるとしても、エッジ領域にほんの少しのシーム（seams）を有するだけである。他の固定手段は好ましくは必要とされない。カバーは、好ましくは詰め物（padding）に適合する。カバーは、クッションに非常に正確に位置決めされる。

40

【0006】

本発明は、車両座席に関する。車両座席が有する、座部及び／背もたれは、例えば、布及び／又は革製のカバーによって覆われる、好ましくは発泡性のクッションである、クッションを有する。

【0007】

さらに、各例の背もたれ及び／又は座部は、各場合において座部及び／又は背もたれのフレームを少なくとも部分的に覆い、かつ側部における各場合においてクッションを部分的に覆う側部の覆いを有する。

【0008】

補強ストリップは好ましくはプラスチックストリップ、厚紙ストリップ及び／又は油紙

50

ストリップである。補強ストリップの断面は、好ましくは半分の矢の形状（半矢形状）である。補強ストリップは好ましくはカバーのエッジを超えて突出している。補強ストリップは、当業者によって周知のいずれの方法によってもカバーのエッジに接続される。しかし、補強ストリップは少なくとも一つ以上のシームによってカバーのエッジに好ましくは結合される。

【 0 0 0 9 】

シームは、カバーのエッジに対して好ましくは平行に走っている。補強ストリップはクッションの形状に適合するような柔軟性を有するように好ましくは設計される。

【 0 0 1 0 】

10

カバーのエッジ領域は、好ましくは折り曲げられている。折り曲げ部は、好ましくは、カバーによって覆われている補強ストリップの端部に沿って延びる。

【 0 0 1 1 】

本発明によれば、ギャップが、例えば発泡性クッションのようなクッションと、側部の覆いの間に設けられる。クッションの形状及び／又は側部の覆いの形状は、隙間が概ね一定の幅を有するような仕様に相互に好ましくは連携される。この隙間は、カバーのエッジ領域を受け、さらに補強ストリップはそれによってクッションと側部の覆いの間のカバーを固定する。特に、補強ストリップは、隙間にて固定的にクランプされる。

【 0 0 1 2 】

カバーは好ましくはクッション上に引っ張られるカバーによってクッションに固定され、続いて、エンドの周辺に折り曲げられるカバーのエッジ領域は、プロセスにあつて又は実質的に隙間に導入される、カバーによって覆われる。代替的に、クッションは、始めにカバーによって覆われ、補強ストリップがその周りに折り曲げられ、さらに続いて側部の覆いが係合される。

20

【 0 0 1 3 】

カバーと同じ材料又は異なる材料によって製造されるラミネーションが好ましくはカバー及び／又は補強ストリップのエッジ領域に好ましくは設けられる。ラミネーションは、視覚的な理由のために設けられるか、及び／又は隙間における補強ストリップのためによりグリップを提供するために設けられる。例えば、ラミネーションは、隙間における補強ストリップを追加的にクランプする役割を果たす。ラミネーションは、カーペットと類似の材料から好ましくは製造される。さらに、ラミネーションは、例えば背もたれを座部に対して調整する間、及び／又は本発明に係る車両座席が提供される車両の走行の間の雑音を低減するために設けられる。

30

【 0 0 1 4 】

本発明は、図 1 及び図 2 を参照して以下に説明される。これらの説明は、単に具体例にすぎず、本発明のコンセプトを制限するものではない。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 5 】

【図 1】本発明に係る車両座席のクッションの第 1 具現化例を示す図である。

【図 2】本発明に係る車両座席のクッションの第 2 具現化例を示す図である。

40

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 6 】

図 1 は、車両座席のクッション 2 を概略的に示す。クッション 2 は側部の覆い 5 によって少なくとも部分的に囲まれている。クッションと車両座席のフレームの任意の部分は、カバー 1 によって覆われている。カバー 1 のエッジ領域は、本発明の場合、半矢形状の断面を有するプラスチックストリップ 3 を有する。補強ストリップ 3 は、一端がカバーのエッジを超えて突出し、さらに他端が、ここでは半矢ポイントがカバーによって覆われる。本発明の場合、カバーと補強ストリップ 3 は、カバーのエッジに対して平行に走るシーム（seam）6 によって相互に対して接続される。カバーと同じ材料から、又は異なる材料から製造されるラミネーション 7 は、カバーのエッジ領域にあつても好ましくは設けられる

50

。ラミネーション 7 は、補強ストリップ 3 及びカバー 1 に一つのシームによって接続され、さらに補強ストリップ 3 に別のシーム 6 によって接続される。カバー 1 は、先ず始めにクッションにわたって引っ張られるカバー 1 によって詰め物 2 上に配置される。補強部 3 は、折り曲げ部 (fold) 1 . 1 の周りに概ね折り曲げられ、さらにクッション 2 と側部の覆い 5 との間に配置される隙間 4 の中に挿入される。このプロセスにあって、補強ストリップは隙間にクランプされ、その結果、そこからはもはや自動的に取り除かれない。本実施例の場合、隙間におけるクランピングは、隙間を付加的に満たし、さらにクッション 2 及び / 又は側部 5 の間の付加的な摩擦をもたらす、ラミネーション 7 によってさらに向上される。補強ストリップ 3 の半矢ポイントは、カバー 1 の丸められて美的に魅力的なエッジが半矢ポイントの領域で持ち上がり、及び / 又は半矢の背後に走るシームが覆われるのを確実にする。

10

## 【 0 0 1 7 】

図 2 は図 1 の具現化例のうち、補強ストリップ 3 が矩形の断面を有する場合について示す。さらに、この場合、シーム 6 はいくぶんさらに離れて動かされる。他の部分については、図 1 の具現化例の参照が用いられる。図 2 にあって、補強ストリップ 3 は半矢ポイントを持たず、このためカバー 2 のほぼ直角に角度の付けられたエッジは、補強ストリップ 3 の領域にあって上昇する。カバー 1 の可視できるエッジが、補強ストリップ 3 の端部領域の形状により所望の仕様にて有利に形成される。

## 【 符号の説明 】

20

## 【 0 0 1 8 】

- 1   カバー
- 1 . 1   折り曲げ部
- 2   詰め物
- 3   補強ストリップ、プラスチックストリップ、半矢の断面のストリップ
- 4   隙間
- 5   側部の覆い
- 6   シーム
- 7   ラミネーション

**Fig. 2**

---

フロントページの続き

(72)発明者 シッティコ、 アンドレアス  
南アフリカ共和国 6 2 2 0 オイテンハーヘ ジョージ アベニユー ナンバー 0 9

審査官 望月 寛

(56)参考文献 特開 2 0 0 5 - 0 0 7 0 3 9 ( J P , A )  
特開平 0 9 - 2 9 4 8 8 2 ( J P , A )  
実開昭 5 9 - 0 9 3 2 6 0 ( J P , U )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)  
B 6 0 N 2 / 5 8  
A 4 7 C 3 1 / 0 2  
B 6 8 G 7 / 0 5